

浜離宮
ピアノ・セレクション

HAMARIKYU PIANO SELECTION

ベートーヴェン：

ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 Op.13 「悲愴」

L.v.Beethoven: Piano Sonata No.8 in C Minor, Op.13, "Pathétique"

プロコフィエフ：

バレエ「ロメオとジュリエット」からの10の小品

Op.75より抜粋

S.Prokofiev: 10 Pieces from Romeo and Juliet, Op.75(excerpts)

ショパン：バラード 全曲

F.Chopin: Ballades

第1番 ト短調 Op.23

No.1 in G Minor, Op.23

第2番 ヘ長調 Op.38

No.2 in F Major, Op.38

第3番 変イ長調 Op.47

No.3 in A-Flat Major, Op.47

第4番 ヘ短調 Op.52

No.4 in F Minor, Op.52

『物語と詩』
3人の作曲家を巡る、音楽の旅

小菅優 ピアノ・リサイタル

YU KOSUGE
PIANO RECITAL

©Mitsuo Boggyrwa

2015 7.3 金 19:00開演(18:30開場)

浜離宮朝日ホール

Hamarikyu Asahi Hall

都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅A2出口すぐ／朝日新聞社 新館2階 TEL.03-5541-8710

全席指定：5,000円(税込) 3月7日[土]一般発売

■ 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く/10:00-18:00)

■ 朝日ホール・オンラインチケット [検索](#)

■ イープラス <http://eplus.jp/>

■ ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター/10:00-20:00) <http://l-tike.com/>
0570-084-003 (Lコード 38482 : 自動音声対応24時間)

お問い合わせ：朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く/10:00-18:00)

主催：朝日新聞社

*やむを得ぬ事情により変更が生じる可能性がございますが、曲目変更等に伴う払い戻しはいたしませんので予めご了承ください。

*未就学児のご入場はお断りしております。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約) 0120-788-222

「悲愴」「ロメオとジュリエット」「バラード」——。 オーケストラのように、色彩豊かな音の物語を紡ぐ。

この度は、久しぶりに浜離宮朝日ホールで弾かせていただくことを大変嬉しく思っております。
今回のプログラムは、物語と詩をテーマに、ベートーヴェン、プロコフィエフ、ショパンの名作を並べました。この個性の違う三人の作曲家は、それぞれバロックや古典派の影響を受けている一方、ピアノ音楽に常に斬新な進化を与えていると思います。

シェイクスピアを愛読していたベートーヴェンのソナタ「悲愴」に、私は直接的な感情というより悲劇を語るような劇的な印象を受けます。同時に、悲愴な表現を超越している上、今までになかった構成の自由さには、ベートーヴェンならではの“革命力”さえ感じます。

プロコフィエフのバレエ音楽「ロメオとジュリエット」は小さい頃からあこがれの曲でしたが、特にマーゴ・フォンテインとルドルフ・ヌレエフの映像は何回も見てしまうほど美しく、シェイクスピアのメッセージが心に突き刺さるようでした。去年バイエルン州立歌劇場でも見る機会があり、音楽の素晴らしさに改めて感動しました。物語やキャラクター——一人一人の心情や状況をこまめ的確に表している作品だからこそ、世界中の観客・聴衆を引き込む力があるのではないのでしょうか。ピアノの編曲によって、今回やっとコンサートで弾くことができるのが楽しみです。

ショパンはプレリュードやエチュード、即興曲などと長く付き合ってきましたが、バラードは特に好きな作品の一つです。ミツケヴィチの詩の影響だけではなく、ショパンの愛国心とロマン派の詩情にあふれる最高傑作だと思います。一つ一つには異なった物語があると同時に、共通する一本の筋が通っており、ショパンの即興性と変奏力、抒情的な歌心と爆発するような感情の強さがどの曲にも表れていると思います。

浜離宮朝日ホールの素晴らしい音響の中で、どの曲もオーケストラのような色彩豊かな音の物語を語ることができたととても嬉しいです。皆様と共に、この三人の作曲家を巡って音楽の旅ができることを心より楽しみにしています。

—— 小菅 優

小菅 優 (ピアノ) YU KOSUGE, PIANO

高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性と深い楽曲理解で最も注目を浴びている若手ピアニストの一人。2000年にドイツ最大の音楽評論誌「フォノ・フォルム」より、ショパンの練習曲全曲録音に5つ星が与えられた。9歳より演奏活動を開始し、その足跡はヨーロッパ、米国、日本など年に40カ所以上に及ぶ。2005年ニューヨークのカーネギー・ホールで、翌2006年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビューを行い、大成功を収めた。

これまでにドミトリエフ、デュトワ、小澤、大植、フリントン、オラモ等の指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、ハノーファー北ドイツ放送フィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響等と共演。ザルツブルクをはじめラインガウ、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン等の国際音楽祭にも出演し着実に活躍の場を広げている。2010年ザルツブルク音楽祭で、イーヴォ・ポゴレリッチの代役としてフィリップ・ヘレヴェッツへ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演し、絶賛を博した。2012年4～5月、紀尾井シンフォニエッタ（指揮：ティエリー・フィッシャー）のアメリカ・ツアーに参加、10～11月にはハンス・イェルク・シェレンベルガー指揮カメラータ・ザルツブルクの日本ツアーに参加、モーツァルトのピアノ協奏曲第20

番から第27番までの全8曲を共演し、高い評価を得た。2013年2月、服部譲二指揮ウィーン室内管弦楽団とモーツァルトのピアノ協奏曲第9番変ホ長調K.271「ジュノム」を共演、ウィーン・デビュー。そしてロンドンのウィグモア・ホールでリサイタルを行いロンドン・デビューを果たした。また、2010年より東京、大阪でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会（全8回）を行う。

録音は、最新盤の「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ集第4巻『超越』」が3月11日にリリース。その他「モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番&第22番」、小澤征爾指揮／水戸室内管との「メンデルスゾーン：ピアノ協奏曲第1番他」を含む13枚のCDをソニーより、また「リヒャルト・シュトラウス&フランツ・シュトラウス：ホルン&ピアノ作品集」（オクタヴィア・レコード）、「モーツァルト：ピアノと管弦楽のためのロンド 他」（ワーナーミュージック・ジャパン）をリリースしている。

第13回新日鉄音楽賞、2004年アメリカ・ワシントン賞、第8回ホテルオークラ音楽賞、第17回出光音楽賞を受賞。2014年 第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞受賞。

小菅 優 若き才能が挑むベートーヴェンの世界。チクルス第4弾。

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ集第4巻「超越」 （第5番、第6番、第7番、第11番、第29番「ハンマークラヴィーア」）



ベートーヴェン：

《Disc1》

ピアノ・ソナタ第5番ハ短調 作品10-1
ピアノ・ソナタ第6番ヘ長調 作品10-2
ピアノ・ソナタ第7番ニ長調 作品10-3

《Disc2》

ピアノ・ソナタ第11番変ロ長調 作品22
ピアノ・ソナタ第29番変ロ長調 作品106

小菅 優 (ピアノ) [録音] 2014年8月18日～22日 水戸芸術館コンサートホールATM

小菅優が2011年から着手したベートーヴェンのピアノ・ソナタ全集録音、全5巻（各2枚組）の4作目。第1巻「出発」、第2巻「愛」、第3巻「自然」に続く第4巻「超越」は、ベートーヴェンのピアノ・ソナタの中でも最大の問題作にして難曲「ハンマークラヴィーア」を中心とした、シリーズの中でもひとつのクライマックスを築きあげるものになりました。《Disc1》には、ベートーヴェンが20代の終わりに書いた作品10の3曲を、《Disc2》には初期作品ながら大規模な構成を持つ作品22と、古今のピアノ・ソナタ中未曾有の規模を持つ傑作である作品106「ハンマークラヴィーア」を収録しています。

3.11発売

2ハイブリッド・ディスク
● SICC 10216-7
¥3,800+税

Sony Music Japan
International



好評
発売中

ベートーヴェン： ピアノ・ソナタ・チクルス



ピアノ・ソナタ集第1巻「出発」

ピアノ・ソナタ第1番～第3番、第16番～第18番
2ハイブリッド・ディスク ● SICC10116-7
¥3,800+税



ピアノ・ソナタ集第2巻「愛」

ピアノ・ソナタ第9番、第10番、第13番、第14番、
第24番、第27番、第28番
2ハイブリッド・ディスク ● SICC10176-7
¥3,800+税



ピアノ・ソナタ集第3巻「自然」

ピアノ・ソナタ第4番、15番、第19番～21番、
第25番、第26番
2ハイブリッド・ディスク ● SICC10211-2
¥3,800+税